	シーズ名	政策シミュレーション分析
	氏名・所属 等	川島秀樹 保健医療経営学部 教授

<概要>

専門は情報学と経済学です。30年前の学生時代から、どうしたら国が豊かになれるのか、どのようにして国民一人一人が幸せになれるのかという国民所得論の研究に没頭するようになりました。IT企業で培ったソフトウェア技術を駆使し、市の福祉需要分析や地域市民所得分析、さらに全国の国民所得、年金、所得税などを計算するマイクロシミュレーション・システム(keisim)を開発し、試算することができました。このプログラムをさらに発展させたものが、官公庁の受託研究で試行され、この研究によって、経済学の方野でコンピュータによる政策試行が具体的になりました。

<アピールポイント>

モデルを構築し、政策シミュレーションを行うことができる。例えば、老人福祉需要の推測、地域国民所得の変化など。分析は動的マイクロシミュレーション構築方法を体系化している。データベースを使ったアプローチ、データベース構造、初期データの登録方法および個人・世帯のライフサイクルのアルゴリズムについて分析している。次に、カリブレーションを行ってプログラムの検証をおこなっている点である。これにより、稼動するシステムに大きな漏れはないものと確信することができる。最後に、このプログラムで将来の政策シミュレーションを行った点である。この手法を使うことによって、より説明力のある結果を求めることができる。(図1参照)

<利用・用途・応用分野>

官公庁政策シミュレーション

<関連する知的財産権>

マイクロシミュレーションのTaxSimプログラムは、川島秀樹、三菱経済研究所との共同著作権(バイドール契約)あり。

<関連するURL>

1. 動的マイクロシミュレーションの構築,川島秀樹,<<http://www.healthcare-m.ac.jp/hc/wp-content/uploads/file/2/14/1/HOKE13.pdf>>,参照日2016.1.30.
2. 一橋大学機関リポジトリ, 日本版EITCの暫定効果, 高山憲之, 白石浩介, 川島秀樹, <http://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/items-by-author?author=%E5%B7%9D%E5%B3%B6%2C+%E7%A7%80%E6%A8%B9>,参照日2016.2.25.

<他分野に求めるニーズ>

政策シミュレーションだけではなく、システム設計、データベース設計、プログラム開発を支援できる。

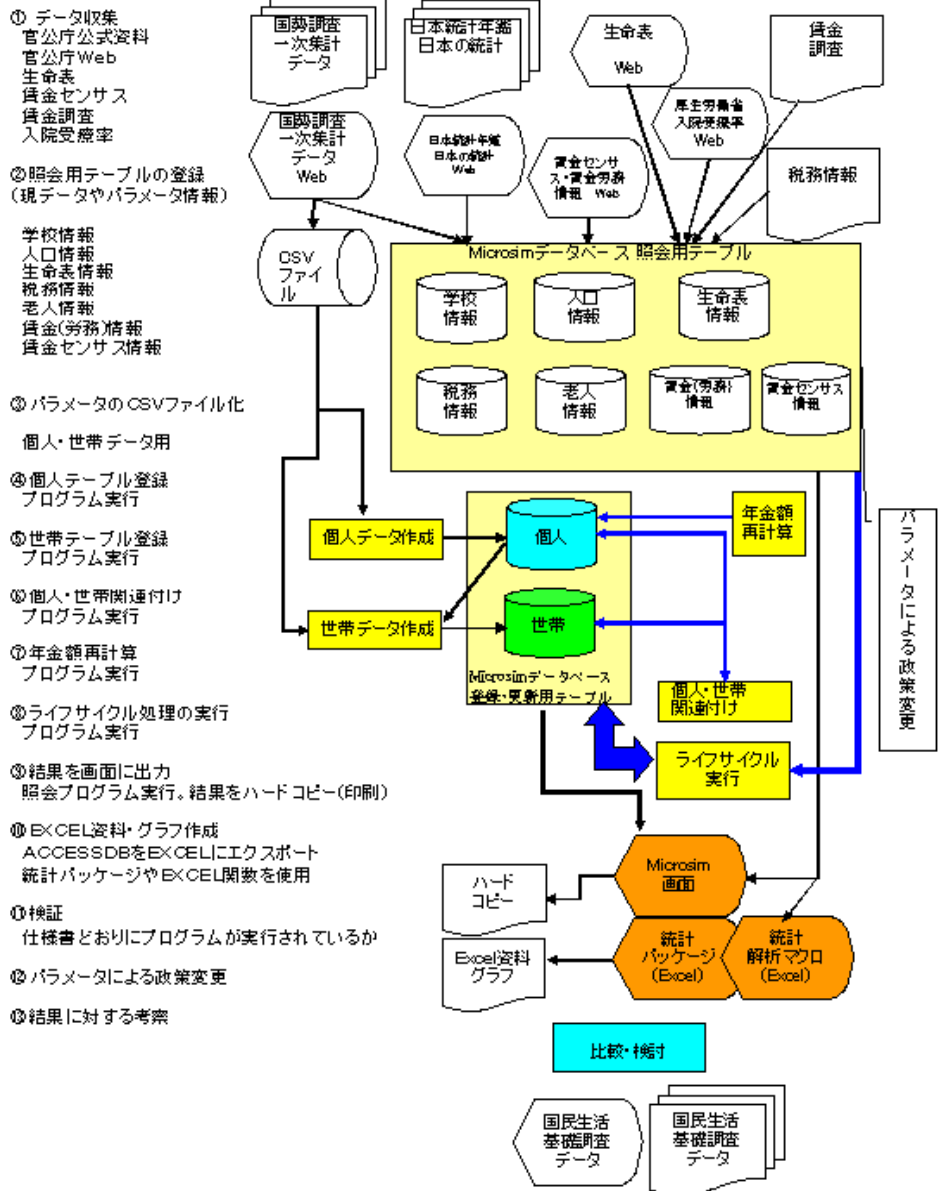


図1 マイクロシミュレーション概要図

キーワード

政策シミュレーション、情報学、経済学、年金、データベース